

【施設状況】

グループ名称	真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）、真島テニスコート							
指定管理者名	株式会社フクシ・エンタープライズ				法人番号	9010601006031		
所管課	主	151000	スポーツ課	副				
構成施設	3492	真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)						
		真島テニスコート						
施設分類	02	施設貸出1型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	メインアリーナ、サブアリーナ、真島テニスコート（1面）							
施設設置目的	1998年第18回オリンピック冬季競技大会開催にあたり、フィギュアスケート会場及びショートトラックスピードスケート会場として建設。その後、後利用計画に基づき一部改修工事を行い、スポーツ振興を目的とした市民の一般利用を中心とする施設として開館。							
基本方針等	長野市営真島総合スポーツアリーナは、幼児から高齢者まで、市民が世代を超えて楽しみながら気軽にスポーツに親しむことのできる施設となること及び各種国際・全国レベルの大会を開催して、市民がレベルの高いスポーツ鑑賞をすることのできる施設となることの両立を目指しています。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設貸出（一般利用） スポーツ教室の開催 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社フクシ・エンタープライズ			指定回数	3 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	特になし			3	

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	アリーナ入場者数	人	161,577	156,428	160,892	159,044	99%	
	テニスコート利用者数	人	1,011	839	894	800	89%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 特になし								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・真島総合スポーツアリーナの利用の許可に関する業務 ・真島総合スポーツアリーナの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・利用の取消し等に関する業務 ・利用料金の収受に関する業務 ・予約システムによる利用許可の申請等に関する業務 ・施設管理全般業務（維持管理点検・清掃等） ・真島総合スポーツアリーナの管理に関し、市が必要と認める業務 			特になし			
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー体操教室・ソフトエアロピクス教室・親子体操教室・フィットネスヨーガA、B・リズム体操教室・フットサル教室（高学年・低学年）ZUMBA教室・キッズダンススクール・ホワイトリングランニングクラブ・骨盤すっきり体験・体験ホットヨガ・THE ZUMBA・ちびっこ体操教室・足腰強化体操・リズム体操・ソフトエアロ・ピラティス&ヨーガ・転倒予防教室・ノルディックウォーキング・サッカークリニック・親子クリスマスフェスタ・ホワイトリングフットサル交流会・バスケットクリニック・車いすバスケ体験会・トップスポーツふれあい事業・パブリックビューイング・真島クリーンアップ大作戦・ペットボトルキャップボランティア事業・ CPR講習会・わくわく幼児広場・ワイワイキッズ広場・フリーマーケット・企業運動会・研修会誘致事業・サプリメントの販売・スポーツグッズの販売・トレーニングルーム運営・RUNNING POINT・ストレッチタイム・パーソナル指導・ホワイトリング杯ベンチプレス大会・トレーニンググッズのレンタル・飲料販売 			参加申込が無かった事業については、ニーズのあった事業に変更して実施した。			
サービス維持・向上の取組み（広報等）	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・自社ホームページ等で情報発信し、PR活動を実施。 ・苦情マニュアルに基づく、丁寧かつ迅速な対応の実施。 							

3

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容	アンケートを設置し、来館者及び教室参加者に記入していただいた。（回答数111名）	
(3) 調査、会議等の結果	<アリーナ利用者> ・利用頻度（初めて11名、月1～2回59名、月3～4回34名、月5～8回1名、月9回以上2名、未回答4） ・開館時間（大変良い20名、良い54名、普通37名、悪い0名、大変悪い0名） ・利用料金（安い13名、普通78名、高い19名、未回答1名） ・スタッフ対応（大変良い50人、良い48名、普通13名、悪い0名、大変悪い0名） ・施設の改善点（ある22名、ない70名、無回答19名）		
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの対応がとても良く感謝しています。 ・スタッフの方が気持ち良い対応で助けられました。 ・笑顔がいい。 ・明るく声かけていただける。 ・トイレがいつもきれいです。 	
	(2) 苦情・改善等の要望事項	①休館日をなくしてほしい。・開館時間を延ばして欲しい。 ②メインアリーナの照明（の向き）がまぶしい。・夜間、サブアリーナの照明を明るくして欲しい。 ③これ以上利用料金が値上がりしなければありがたい。 ④トイレをウォシュレットにしてほしい。 ⑤サブアリーナにエアコンが欲しい ⑥床の修繕を早めにして欲しい。	
	<<対応措置>>	①職員体制上困難 ②メインアリーナについては建物の構造上対応は困難。サブアリーナについては、必要により電球の交換を行う。 ③市に要望を伝えた。 ④次年度実施予定 ⑤市に要望を伝えた。 ⑥次年度に修繕を行う予定	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	25,659,000	利用料金	32,859,240	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	72,970,000	指定管理料	72,970,000		雑（納付金）	1,494,000	雑（納付金）	878,000
	委託料		委託料			行政財産 目的外使用料	41,261	行政財産 目的外使用料	41,261
	販売収入等	2,650,000	販売収入等	2,338,725		貸付料		貸付料	
	その他収入		その他収入	443,600		その他		その他	
	計	101,279,000	計	108,611,565		計	1,535,261	計	919,261
支出	人件費	24,541,000	人件費	23,777,907	歳出	指定管理料	72,970,000	指定管理料	74,707,000
	設備管理費	43,296,000	設備管理費	44,869,921		委託料		委託料	
	備品購入費	240,000	備品購入費	0		需用費		需用費	
	修繕費	1,050,000	修繕費	2,649,098		役務費		役務費	60,400
	光熱水費	24,068,000	光熱水費	24,113,759		使用料・賃借料	31,536	使用料・賃借料	31,536
	事業費	1,785,000	事業費	1,681,819		修繕費		修繕費	
	事務経費	531,000	事務経費	710,279		工事請負費	1,019,520	工事請負費	
	本社経費	2,760,000	本社経費	2,760,000		備品購入費		備品購入費	
	その他	3,008,000	その他	3,068,558		その他		その他	
	計	101,279,000	計	103,631,341		計	74,021,056	計	74,798,936
自主事業	収入	10,935,000	収入	11,921,724					
	支出	11,833,000	支出	11,213,313					
	自主事業損益	-898,000	自主事業損益	708,411					
損益		-898,000		5,688,635	差引		-72,485,795		-73,879,675
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									22.9%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 （うち市内雇用職員数） 総数12名（長野市内雇用11名） 館長1名、副館長1名、主任1名、運営スタッフ3名、受付スタッフ6名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地区業者への積極的業務発注 ・市内からの積極的な雇用 ・市内業者からの積極的な物品購入 ・高齢者の雇用促進 ・近隣水路の清掃作業の実施 ・敷地内に地元住民による花壇作り 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	8	
事業収支	4	16	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			68

評価理由

- ・「利用者評価」について、アンケート結果及び現地モニタリング結果が良好であったため評価を「4」とした。
- ・「事業収支」について、施設の老朽化により修繕費が増加しているなか、企業へ施設利用の誘致を行い利用料金収入を伸ばすなど黒字とし、併せて自主事業の運営についても黒字となっており評価を「4」とした。
- ・「地域連携」について、市内からの雇用や物品購入等を積極的に行ったため評価を「4」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金を値上げするが、利用者数の減にならないよう、環境整備に努める。 ・引き続き設備機器等の老朽化や安全対策のための改修計画を立て、又実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金の値上げを行ったが、利用者数は前年比99%と現状を維持した。 ・積極的に施設修繕を行った。 	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金を値上げ3年目となるが、利用者数の減にならないよう、環境整備に努める。 ・引き続き設備機器等の老朽化や安全対策のための改修計画を立て、実施していく。 		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

トレーニングルームが自主事業（H28）となり、トレーニング機器新機種を導入と、トレーニングルーム利用者への無料ストレッチ指導のサービスが好評となり、特にシルバー層の集客に繋がりました。教室につきましては、定期教室で好評の4種類6教室を実施し、参加利用人数は定員の86%で出席率は76%でありました。短期間のイベントにつきましては、定期教室参加者の希望もあり、好評の13種類53教室を実施し大きく集客を延ばすことが出来ました。ニーズにお応えできるよう、利用者皆様のご希望を受け、年間を通じ参加いただけるようイベントとして設置した事で、イベント参加人数前年比278%となりました。また、来館者の皆様に喜んでいただけるよう、館内外の清掃の強化と環境美化を推進しております。

② 業務の効率化に対する取組み

効率の良い業務に向けた取り組みといたしまして、勤務スタッフで日々交代しながら館内の清掃、敷地内の草刈りや整地等の作業を実施する際は、シフトにより作業担当と内容を明確化する事で効率的に進めております。また、作業を効率良く進めるため事前準備を行いました。更なる効率化と、経費削減の為に乗用の草刈機や除雪機の導入を検討したいと考えます。

③ その他

今年度は、夏が猛暑で冬も寒い日が多かった事もあり、大会・イベント等でメインアリーナの空調を使用する頻度が多く、期間も例年より長期間続きました。光熱水量を見ると前年度比（電気使用量102%、水道使用量110%、灯油使用量108%、ガス使用量84%）と全体的に増えましたが、大会・イベント主催者の方々にご協力いただき、可能な範囲で開催前後等の節電のご協力をお願いし、スタッフも節電対応に努めました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

メインアリーナ床の全面張り替え後9年が経過し、劣化状況が顕著に表れてきた為、早期修繕が必要な状況にきております。特に、バレーボール・フットサル競技は衣類に引っかかり、床材剥離による怪我が大変懸念され、他施設では大きな事故も発生している現状もあることから、早期修繕工事の実施が求められます。また、建設から23年が経過し、躯体や設備の経年劣化が進んでおり、調子の良くない設備もあるため、計画的な修繕を進める必要があると考えます。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る
- 【D】計画や目標を下回る

- 【B】計画や目標を上回る
- 【E】計画や目標を大きく下回る

【C】計画や目標どおり

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

本体事業では、平日のイベント等の誘致活動や企業による施設利用を誘致し、収入増に繋がりました。自主事業では夏季の施設の空きを活かした実施イベントが好評で、集客増により増収に繋がりました。

② 次年度以降の取組み

メインアリーナの平日利用を如何に促進するかが、集客増・収入増に繋がる事から重要課題であります。今後も市内外企業や団体への平日利用の営業活動を推進してまいります。トレーニングルームにつきましても、平日午後の使用促進が課題になります。利用者の無料ストレッチ指導を定期に実施し、平日午後の利用者増を目指します。今年度好評でありましたイベント開催につきましても、更なるニーズにお応えできるイベントを設置し開催致します。また、例年と同様に館内外の美化にも継続的に取り組み、来館いただいたお客様に喜んでいただける施設の管理運営を行なってまいります。